



～ 明るく 元気で 夢いっぱい ～

こどもの日イベントで見たこどもたちの素敵な瞬間

4月30日にこどもの日にちなんだミニイベントを行いました。手遊び歌やこどもの日に関するクイズや紙芝居、ゲーム等、いろいろな遊びや活動に挑戦しました。その中で、素敵な姿がありましたので紹介します。

最初は楽しくできていても、自分が苦手を感じている遊びがあると、活動の途中から活動に参加することをやめてしまうお子さんがいます。この日もありましたが、最後の活動には、全員が参加できたのです。

本人たちが「もう一度やってみよう」という気持ちになれたこともありましたが、そばで見ていた子どもたちの中から、自然に「がんばれ、がんばれ！」の声援が沸き起こったことや一番、最後に一人でがんばってゴールできた子には名前をコールして頑張りたたえることがあったからでした。

また、先生方の優しい支援もありました。通り抜けが怖かったお子さんには寄り添い、気持ちが落ち着くまでそっと見守ってくださった先生、「やってみようよ」と最後の活動の参加を促してくださった先生、そばで励ましてくださった先生、途中で大泣きしてしまったお子さんをクールダウンさせてまた活動に復活させてくださった先生。そんな先生方の支えとこどもたちの声援が後押しとなって、生まれた素敵な瞬間でした。

「幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿」というのがあります。今回のことは、「協同性」という力の芽を引き出しました。「協同性とは、友達と関わる中で、共通の目的の実現に向けて、考えたり工夫したり協力したりして充実感を持ってやり遂げるようにすることをねらいとしています。今日の芽生えが、これからの幼児体育や夏まつりの姿に繋がっていくことを願っています。

こどもの日ミニイベント



なでしこ組朝顔のたねまき



今年の重点 その2 「幼保小連携推進について」

今年度の本園の重点項目の一つに幼保小連携推があります。「小1プロブレム」という言葉を聞いたことはありませんか。小学校に入学してから小学校の生活と園の生活とのギャップに苦しむ児童の様子のことを表した言葉です。そこから、不適合を起こして不登校に進むケースも少なくありません。

今年度は、福寿小学校区が連携推進地区の指定を受け、力を入れて取り組んでいます。新聞でもご覧になった方もあるかと思いますが、小学校では緩やかなスタートを目指し、「にこにこタイム」をいう朝の時間をつくり、園の生活のようにカバンを片付けたら自分の選んだ遊びに没頭する時間を設けています。そうすることで、昨年度よりも学校嫌いや不登校傾向を示す児童が激減しているようです。

西部幼稚園でも、アプローチカリキュラムを実施し、年長組の後半から小学校の生活を見据えた心と体づくりを考えていきたいと思っています。